

高校演劇の魅力

10月10日～12日の3日間、函館市芸術ホールと遺愛会議室で第62回高文連道南支部演劇発表大会がありました。オープン参加を含めて4校が参加しました。どの学校も素晴らしい出来栄で、特に生徒の皆さんの伸びやかな演技にはとても感心しました。

私なりに高校演劇の魅力は何かと考えてみました。

1つは、演劇は、人間の人生の一部を切り取り、脚本化し、演ずることで、人生を深く考えることができるということです。今回は友人関係、いじめの問題がリアルに取り上げられていました。

2つ目は、演劇を通して、言葉の重みを身体で受けとめることができ、ひょっとしたらこれからの自分の人生を支える言葉を見つけることができるかもしれないということです。今回の発表の中にも素敵な言葉がたくさんありました。

3つ目は、演じる人は、演劇を通して、たくさんの違う人格を演じることができ、自分を見つめ直すことができることです。「私の普段の姿は、今回演じた役とは真逆です。」と言っていた生徒がいました。とても良い経験になったのではないかと思います。

さらに高校の日々の部活のなかでは、皆で、侃々諤々（かんかんがくがく）とやりながら、一つの舞台をつくりあげていきます。これがまた素晴らしいと思います。今の若者はコミュニケーション能力が不足していると言われることが多いようですが、演劇に関わるなら自然と身につきます。こんな魅力的な演劇に、もっと多くの学校が取り組んでほしいと心から願います。



2012年10月12日